

厚生常任委員会 視察報告

日程 H23年 7月18～20日

参加者 川勝昇、水口崇、川端保壽、漆畑繁生、和田孝明、角将範 各委員
橋本病院事務長、稲生企画財政課長、平井議会事務局長

▽視察研修内容(主な事項)

7月18日(串本7時出発)

串本～仙台空港(14時30分着、レンタカー)～松島海岸。家屋、農地、道路等津波の深い被害状況を見る。松島海岸は島々の点在が好条件なのか紀州と縁の深い五大堂、瑞厳寺等は安泰で人出も多かった。宿舎の山形駅前ホテルに19時30分到着。

7月19日(ホテル9時出発)

◎高島病院＝企業法全部適用と経営方研修(10時～13時)

○病院事業管理者はパン屋社長出身

○経営コンサルタント導入

月3回(10日に1回)診療科目別各部署毎に収支改善対策に取り組む。

○病院黒字の要因

基幹病院へ車で約15分の距離、悪急性期と療養病棟で地域間協力の効果大きい。

○医師確保

町長と管理者が一体で取り組み成果確保。

○病院職員は継続性を重視

医事課長をはじめ異動は控える方針。

一関市ホテル着17時45分。



7月20日(ホテル8時出発)



ホテル～気仙沼～陸前高田～釜石、海岸沿津波被災地視察。多くの犠牲者、壊滅の街、液状化の惨状、廃墟の中に佇み、「津波対策は高台へ逃げるに如かず」とつくづく教わる。

◎遠野病院＝医療と介護のドッキング方式研修(13時～15時)

○院長自らパワーポイントにより説明

☆高齢者対策として、施設に入れない人を在宅で診る。

☆在宅に病室の環境をつくる。X線治療も在宅で実施。

☆会計処理も在宅です。家族も病院に来なくてよい。

☆往診は週3回、1軒あたり約20分、1日8軒程度。

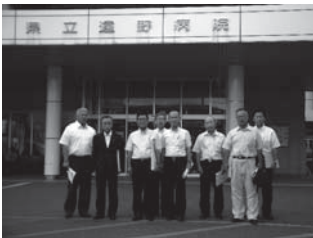
☆医療、介護のデータが共存した巡回車使用。リハビリも実施。

☆患者負担の軽減、医療、介護併せて月5万円位の負担。

☆岩手県内には県立病院が21箇所、市町村の負担がない。

医療対策に積極的な県行政の推進に敬意を表し研修を終わりました。

花巻空港18時30分～串本到着24時の研修行程でした。



一般質問



角 将範

9月議会

①「串本町行財政改革」について
行財政改革については平成17年合併時に、総務省の通達もあり職階級の見直し等、新町における行革(当時私が議会代表の委員長)について当局と議会と一緒に改革を進めてきた所です。田嶋町長に変わって、行財政診断書をコンサルタント料300万円を支払って、それをもとに行革を進めようとしていますが、行革を胸を張っていますが、行革に取り組んでから早7年近い年月が過ぎていくにもかかわらず、具体的施策が示されていないのが実態です。その間に、規則に違反した不適切な手当てが職員の人事費の高止まりに成っている現状であり、職員の既得権が公平な税金の使い方に成りません。町民に廻るお金が何千万も減っている事を具体的に指摘し早急な改善を求めました。

②「幼保一元化」(幼稚園と保育所を一括する事)について

この問題については、平成20年より町が取り組んでいたが今は具体的な検討は行っていないとの答弁

平成25年までの国の方針を待つて検討するとの事ですが、串本町独自で取り組める問題でもあり、今の町内の保育現状を考えれば、一刻も早い「幼保の一元化を進めるべき」と提案しました。

12月議会

①参事制について

平成24年度より町職場のグループ制の新設と、参事制(6級)を新しく導入する条例案が町長より提案されました。参事制は将来的に人員費の向上につながる事で、グループ制の班長に4級の職階を与える事も人員費の向上になる事であり、色々と今の既得権を取りつづけた改革であり、よまかしの改革であると私は判断し反対討論を行いました。

②「串本町の火葬場建設問題」

あまりにも劣悪な旧串本町の火葬場の改善対策については、前々より町当局に早急な対策を求め来たところである。前町長も古座川町新火葬場の共同運営ならびに利用について、交渉を持った経緯もある中、古座川町新火葬場の利用方について早急に行動を起こしてほしいと提案しました。田嶋町長は各区長のアンケートを取ったが、町内建設すべき意見が多かったという理由で建設の方向に動く様です。私は将来の人口減、お金の事を考えれば、新しい火葬場はいいと思えば、新しい町民の皆さん、古座川町の新火葬場は立派です。場所は高富から入つてくれる所です。

東牟婁郡町村議会議員研修



講師：関西大学社会安全学部 学部長 河田 恵昭 氏

日時：10月6日 午後1時30分から午後3時05分まで
場所：那智勝浦町「ホテル浦島 日昇館」
演題：「東海・東南海・南海地震と津波対策について」
～東日本大震災の教訓から～



近い将来、必ず起こるといわれている、東海・東南海・南海地震について、津波発生メカニズム、発生した場合どうするか、いかに人命を救済被害を小さくするか、東日本大震災を教訓にいま考えなくてはならないこと、スライドを交えて頂きました。5町村から60名余りの議員が参加し研修会が行われました。当地域の大きな関心事であり、いくつかの質問もなされました。また各町村議会との交流もあつて大変有意義な研修会となりました。